

# 当院の CT 検査における被ばく

## ○CT 検査とは？

X 線を体に照射すると、組織の組成等の違いにより X 線の減弱度合いに違いが生じます。

CT 検査は、その違いを利用してコンピュータ処理を行い、画像を構成しています。

CT 検査そのものに痛みはありませんが、放射線被ばくをともなう検査となります。

## ○CT 検査にともなう放射線被ばくについて

放射線の体に及ぼす影響は、100 ミリシーベルト(mSv)未満であれば、発がん率や遺伝的な影響に差はないと言われており、通常の CT 検査では 100 ミリシーベルトを超えることはありません。

当院における CT 検査は、医療情報被ばく研究情報ネットワーク(J-RAIME)が提案する診断参考レベル(DRLs 2025)を参考に被ばく線量低減に努めています。

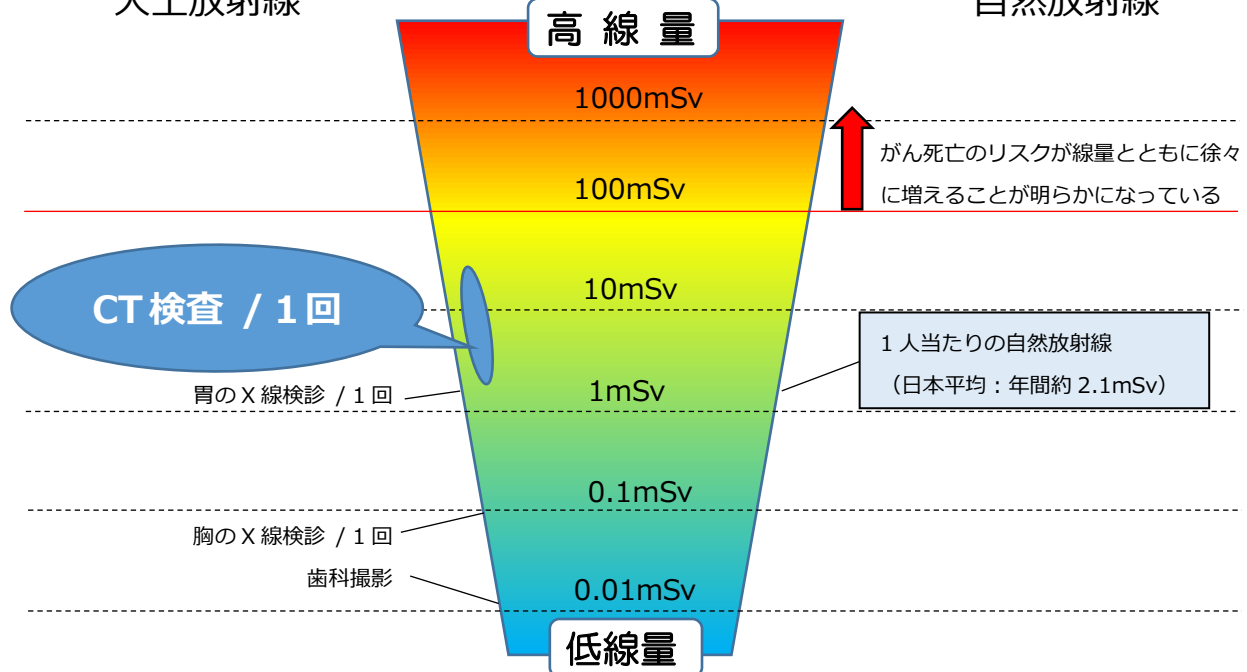
## ○当院の CT 検査における標準的な被ばく線量

標準体型の成人	診断参考レベル (DRLs2025)			当院 CT の 2025 年度平均		
	CTDIvol (mGy)	DLP (mGy・cm)	実効線量 (mSv)	CTDIvol (mGy)	DLP (mGy・cm)	実効線量 (mSv)
頭部単純ルーチン	67	1260	2.65	69.8	1496.8	3.14
副鼻腔	表記なし			15.3	269.4	0.57
胸部 1 相	11	430	6.02	9.1	390.2	5.46
低線量 (胸部/腹部)	表記なし			2.1/7.1	88.2/382.7	1.23/5.74
胸部～骨盤 1 相	13	940	14.10	11.3	837.8	12.57
上腹部～骨盤 1 相	14	720	10.80	15.2	837.6	12.56
肝臓ダイナミック	13	1630	24.45	17.7	2186.5	32.80
冠動脈	57	940	13.16	当院では検査を行っていません		
急性肺血栓塞栓症 深部静脈血栓症	12	2300	34.50	7.1	1318.6	20

## 身の回りの放射線被ばくの早見表

人工放射線

自然放射線



実効線量の単位：ミリシーベルト (mSv)

※図等は放射線医学研究所ホームページを参照しました